

令和 8 年度第 1 回 太宰府市公共施設整備検討委員会 議事録

■開催日時・場所

令和 8 年 8 月 19 日（水） 10 時 00 分～11 時 30 分

太宰府市役所 3 階庁議室

■出席者

委員 9 名 （1 名欠席：安恒委員）

事務局 4 名

傍聴者 なし

■次第

開会

- 1 委嘱状交付
- 2 あいさつ
- 3 委員長・副委員長選出
- 4 説明事項
 - (1) 太宰府市公共施設等総合管理計画について
 - (2) 施設再編の検討状況について
 - (3) 委員会の今後の協議内容について

閉会

■ 質疑・意見等の概要

(1) 太宰府市公共施設等総合管理計画について

委員：近隣自治体と公共施設の連携について話す機会はあるか。そのような形でないと施設の減量化は難しいのではないか。

事務局：今のところそのような話し合いはしていない。

委員：都市部では公共施設の連携は難しい。スポーツ施設などは域外を超えて利用されている部分があるので、サービス面での連携は今後必要かもしれない。

委員：普通建設事業費が平成 26 年と平成 28 年に突出している要因は。

事務局：総合体育館とごじょう保育所の建設があったため。

委員：北谷運動公園は計画に含まれないのか。

事務局：公共施設ではあるものの、本計画は主要な公共施設 39 施設を対象としているため、含まれていない。

委員：一人当たりの施設面積が少ない原因は。

事務局：市町村合併しているところは多くなっている。太宰府市はそれがなくなっている。

委員：小中学校の面積が半分以上を占めており、使われていない時間も多いように感じる。外部の人に教室を解放してはどうか。

事務局：過去に教室数に余裕が出た学校でコミュニティセンターとして開放した事例はある。現状は余裕教室がないため検討していない。割合は高いので課題にはなるかと思う。

委員：一人当たりの施設面積が少ないという理由で、面積削減の目標値を設定しなくてもいいのか。

事務局：目標値は設定していないが、削減しなくていいというわけではない。今後委員会の中で削減や複合化についても検討したい。

委員：PFI を活用した場合その費用は普通建設事業費の削減目標である年あたり 22 億円に含まれるのか。

事務局：具体的に PFI を活用することになれば検討する。

委員：一人当たりの施設量が多いか少ないかが問題ではなく、活用してもらうことが大事。

委員：無駄なところは省いて効率化していかないといけないが、新たなニーズに対応していくことも大事。

(2) 施設再編の検討状況について

委員：全世代交流型のヒアリング結果の期待されることに交通利便性とあるがどういうことか。

事務局：五条駅に隣接していることもあり、利便性が上がると人が集まりやすくなるため。

委員：施設を利用している人がどういう交通手段を使用しているのかも鍵になる。

委員：全世代交流型の居室数を減らす想定になっているがデメリットはないのか。

事務局：利用状況で機械的に算出しているだけなので、実際に減らすかどうかは今後検討する必要がある。

委員：男女共同参画推進センターの相談室のようなものは他の施設にもあるのか。複合化することで無くならないよう配慮する必要があるのでは。

事務局：相談室は複数あるが、相談内容に応じて機能が違うため、ご意見のとおり単純に複合化できるものではない。相談室の役割として、目立つところに複合化するよりも相談に行きやすい場所に残す必要があるという意見もある。

委員：公共施設は各省庁の法律に基づいて建てられていることから、実質的な機能が重複していても法的な制限で減らすことが難しかったが、国も複合化を認める形で制度が変わりつつある。

委員：いきいき情報センターの再編についてはこのまま進めていくのか。バスが減っていて施設までの移動手段も含めて考える必要があると思う。

事務局：あくまで案であり、他の案が出てくればそれも含めての検討になる。交通の件については他の委員会で検討していく。

(3) 委員会の今後の協議内容について

委員：実施計画の具体的な内容は。

事務局：公共施設等総合管理計画では、大まかな整備方針しか示していないため、更新するのか、複合化するのか等具体的な整備方針と全体の整備スケジュールを検討するもの。

委員：モデルプランとしている2つの再編施設については、別の委員会で検討するため本委員会では検討しなくていいのか。実施計画の中にその2つは含まれないのか。

事務局：実施計画の中に含むため、別の委員会と連携して検討する必要がある。

委員：移動手段が無くなっていくなかで、小学校や公民館などの徒歩圏内での拠点づくりが今後大事になってくると思う。今あるものをどうするかだけでなく、新しい考えからも提案していく必要がある。

委 員：例えば公民館でデジタル化したサービスを受けられるようにすれば、遠くの施設に行く必要もなくなる。サービスの提供方法についても検討する必要がある。

事務局：老朽化だけでなく、社会情勢等の変化も見ながら検討していく。